

工 事 番 号							
設計年度	令和 4 年度	城町第2排水区雨水管新設工事（4-1工区） 仕様書 公共下水道事業 三原市城町一丁目					
施工月日	令和 年 月 日						
施工方法	請 負						
工事期間							
工 事 概 要				起 工 理 由			
・ 路線延長（雨水補助）L=82.1m 管体延長（推進）φ800 L=80.6m 立坑工 一式 付帯工 一式							

仕 様 書

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市城町一丁目 公共下水道事業 城町第2排水区雨水管新設工事（4-1 工区）に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・土木工事共通仕様書 令和4年8月 広島版
広島県の調達情報のページ (<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>) - 「技術管理基準等」に掲載している。
 - ・下水道土木工事必携(案) 2021年度 公益社団法人日本下水道協会
 - ・下水道用設計指針と設計標準図 平成26年度改訂版 三原市
 - ・その他関連規格類

第2節 現場の管理

受注者は、工事現場内において、管理技術者、主任技術者(下請を含む。)に工事名、工期、顔写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用するものとする。

第3節 部分引渡し

建設工事契約約款第38条により、本工事の内、部分引渡しの必要が生じた場合は、当該部分の検査を受け部分引渡しを行うこと。

第4節 検査

土木工事共通仕様書（令和4年8月広島版）『第3編 1-1-8 技術検査』によるほか、三原市工事検査規程の定めるところによる。

第5節 情報共有システム（設計金額500万円以上が対象）

- 1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報交換システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。

広島県工事中情報共有システム

<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用

料を支払うものとする。

- 4 なお、工事完成時については、提出する必要がある工事成果品を電子納品すること。また、試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから、受注者は工事成果品 1 部を紙媒体により提出すること。
- 5 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第 6 節 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第 5 4 条に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第 7 節 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
 - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき『法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件』
 - (2) 上記(1)の内容について『不測の事態等が生じた場合の対応方法』
 - (3) 上記(1)、(2)の内容について『現場作業に従事する者に対する周知の方法』
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 『法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件』等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。

また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議するものとする。

2 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において 300m² 以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは 30 日以内に廃止届を提出すること。

ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第 7 節 仮設工

湧水等により、見込んでいる仮設工法が適さない場合や適用できない場合は、任意仮設についても設計変更することができる。

ただし、変更しようとする者は、見込んでいる仮設工法が適用できない根拠を文書等に示すとともに、適した仮設工法の仕様や構造計算書等を添付し、監督員と協議すること。

第 8 節 工事支障物件

1 地下・地上支障物

支障物件名	水道管，ガス管，NTT ケーブル
管理者	三原市水道部，広島ガス㈱，NTT
位置	協議による
移設時期	協議による

第 9 節 推進工法

受注者は、本工事における推進工法の選定が適切かどうかを照査すること。照査の結果、不適切と判断される場合は、双方協議のうえ、変更することを可能とする。

第10節 薬液注入

1 薬液注入

「薬液注入工法による建設工事の施工に関する暫定指針」に基づき施工すること。

「薬液注入工事に係る施工管理等について」に基づき管理すること。

2 周辺環境調査

施工前・中1回・後の3回地下水の水質を調査すること。

第11節 その他

1 工事中機資材の仮置き

場 所	指定しない
期 間	指定しない
保管方法	指定しない

第3章 設計金額

第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書（令和4年8月広島版）『第1編 1-1-31 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。

なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第4章 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に加入しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。

なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。

第5章 工事損失等

本工事の施工に伴い、通常避けることのできない地盤沈下、振動等により建物等に損害等（以下「工事損失」という。）が発生した場合においては、次のとおりとする。

なお、工事損失に伴う補償費用は、設計で現場管理費に見込んでいる。

- | | |
|--------------|---|
| (1) 原因調査 | 監督員と協力して行なうものとする。 |
| (2) 補償交渉 | 監督員と協力して処理解決に当るものとする。 |
| (3) 応急処置 | 監督員から応急処置を講じる必要があると指示された場合は、直ちに応急処置を講ずるものとする。 |
| (4) 補償費用負担割合 | 発注者は、工事損失に伴う補償費用のうち、請負代金額の100分の1を超える額を負担する。 |

第6節 施工合理化調査等

当該工事において受注者は、施工合理化調査等の対象なった場合、資料作成等に協力しなければならない。

第7章 その他

本工事内及び近接する地域住民、企業等には工事内容等を十分に周知・調整したうえで、苦情やトラブルのないよう施工に努めること。
また、特記仕様書及び設計図書に明示していない事項、または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
管路施設(推進工法)(中大口径推進)		式		1	レベル1
管きよ工		式		1	レベル2
泥濃推進工		式		1	レベル3
推進用鉄筋コンクリート管(泥濃)		m		79.7	レベル4
発生土処理		式		1	レベル4
裏込め		m		79.7	レベル4
管目地		箇所		66	レベル4
立坑内管布設工		式		1	レベル3
鉄筋コンクリート管	【管規格】 φ800	m		0.9	レベル4
仮設備工(泥水式・泥濃式推進)		式		1	レベル3
支圧壁		箇所		1	レベル4
クレーン設備組立撤去		箇所		1	レベル4
坑口		箇所		2	レベル4
鏡切り		箇所		2	レベル4
推進用機器据付撤去		箇所		1	レベル4
掘進機引上用受台		箇所		1	レベル4
掘進機据付		箇所		1	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
掘進機搬出		箇所		1	レベル4
通信・換気設備工		式		1	レベル3
通信配線設備		式		1	レベル4
送・排泥設備工		式		1	レベル3
送・排泥設備(泥濃式推進)		式		1	レベル4
注入設備工		式		1	レベル3
注入設備		箇所		1	レベル4
推進水替工		式		1	レベル3
推進用水替		式		1	レベル4
マンホール工		式		1	レベル2
組立マンホール工		式		1	レベル3
組立3号マンホール		箇所		1	レベル4
立坑工	M-5	式		1	レベル2
管路土工		式		1	レベル3
管路掘削		式		1	レベル4
発生土処理		式		1	レベル4
ライナープレート式土留工及び土工		式		1	レベル3
ガイドコンクリート		m		1	レベル4

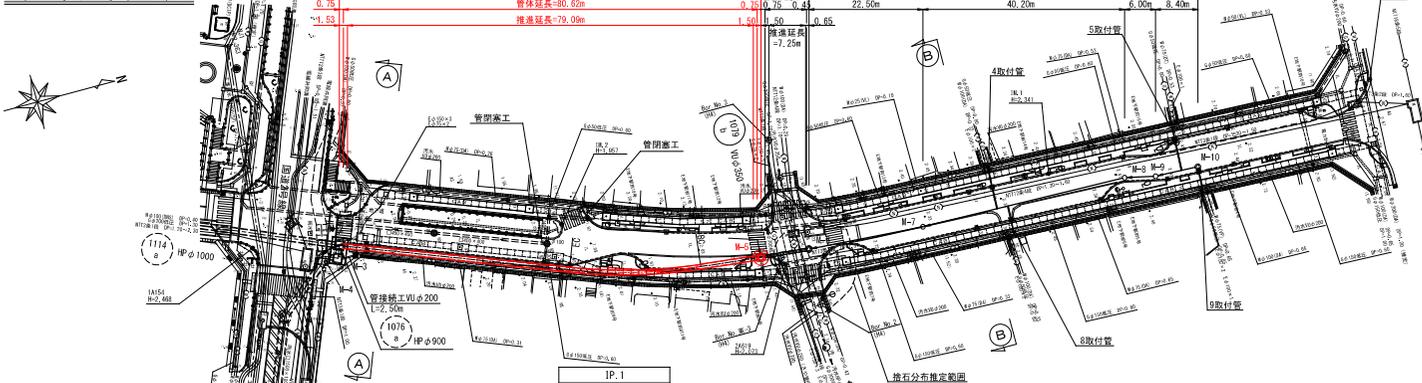
工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
殻運搬処理		m3	1	レベル4
ライナープレート掘削土留		m	2.7	レベル4
ライナープレート埋戻		m3	20	レベル4
ライナープレート存置		式	1	レベル4
立坑基礎工		式	1	レベル4
管路路面覆工		式	1	レベル3
覆工		式	1	レベル4
殻運搬処理		m3	0.2	レベル4
補助地盤改良工		式	1	レベル3
薬液注入		式	1	レベル4
付帯工		式	1	レベル2
舗装撤去工		式	1	レベル3
舗装版破碎(小規模)		m2	19	レベル4
殻運搬処理		m3	1	レベル4
管路土工		式	1	レベル3
管路掘削		式	1	レベル4
発生土処理		式	1	レベル4
舗装仮復旧工		式	1	レベル3

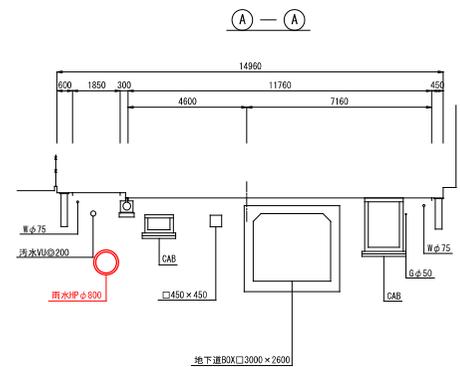
工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
上層路盤(車道・路肩部)		m2		19	レベル4
表層(車道・路肩部)		m2		19	レベル4
ブロック舗装(インターロッキング)		m2		19	レベル4
道路付属物復旧工		式		1	レベル3
菅(函)渠型側溝		m		4.8	レベル4
歩車道境界ブロック		m		4.8	レベル4
暗渠排水管		m		2.5	レベル4
仮設工		式		1	レベル2
仮設工		式		1	レベル3
交通誘導員		m		1	レベル4
直接工事費					
運搬費					
運搬費		式		1	レベル2
運搬費		式		1	レベル3
仮設材運搬費		t		5.6	レベル4
共通仮設費率分					
共通仮設費計					
純工事費					

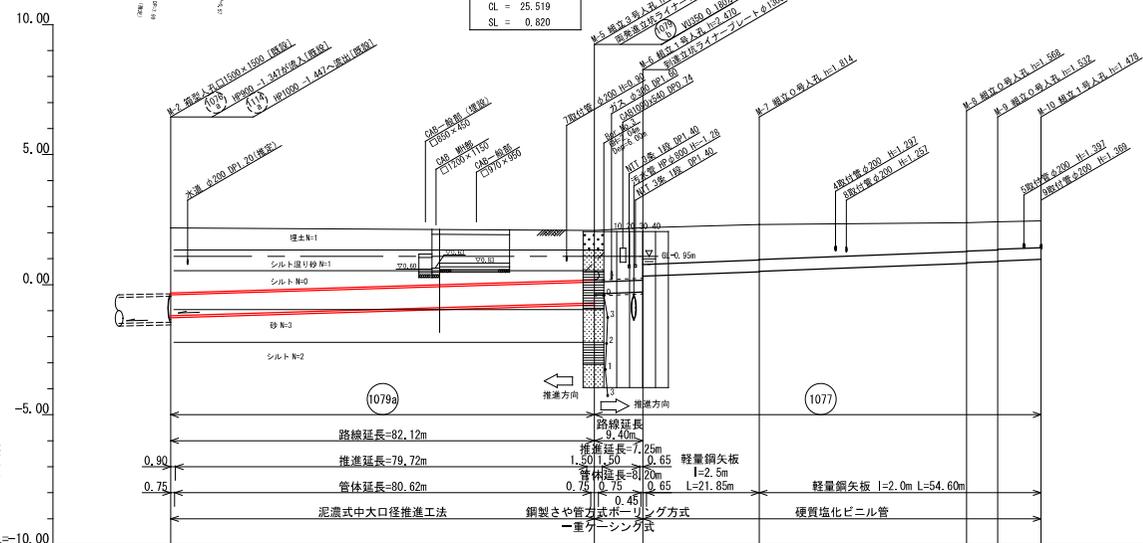
平面図 S=1/500



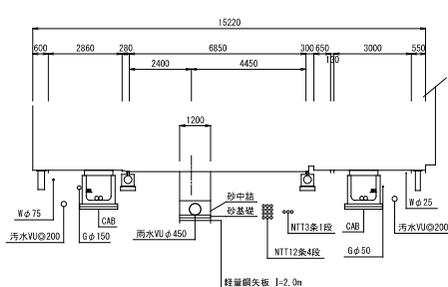
横断面図 S=1/100



縦断面図 V=1/100 H=1/500



(B-B)



凡例

- 雨水実施
- - - 雨水既設
- - - 雨水計画
- ⊙ 組立3号人孔
- ⊙ 組立2号人孔
- ⊙ 組立1号人孔
- 組立0号人孔
- ⊗ 小型塩ビマンホール
- 汚水宅内樹、取付管
- 雨水宅内樹、取付管

施工位置図 S=1/5,000



管番号	管径	工法	延長
1079a	φ800	推進・補助	82.12
計			82.12

令和4年度 公共下水道事業(雨水)

工事名 城町第2排水区雨水管新設工事(4-1工区)

工事場所 三原市 城町一丁目

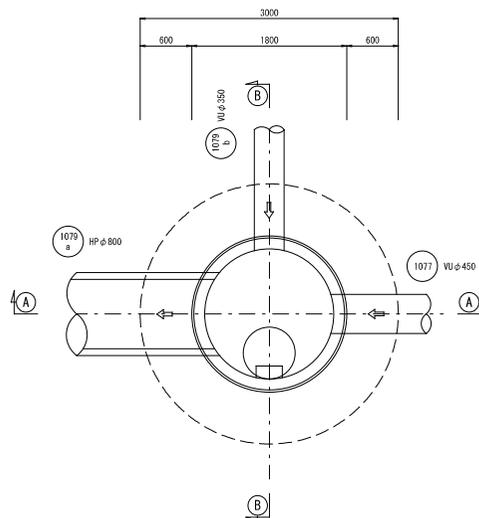
図面番号 1 / 1 縮尺 図示

平面・縦断・横断面図1

三原市

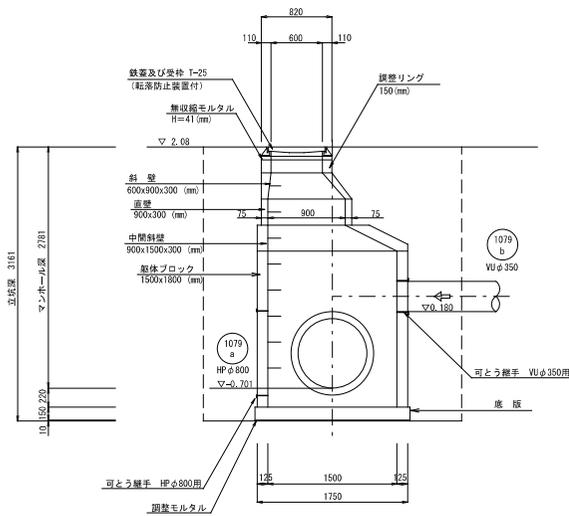
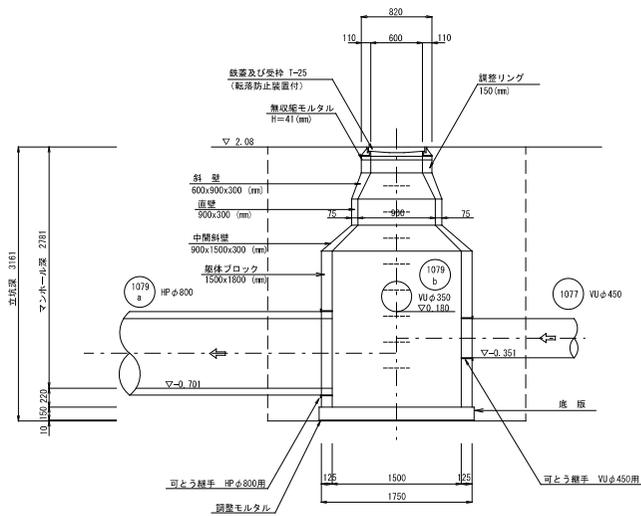
管径 mm	φ800		φ450 (鋼管φ600)		φ450	
	勾配 %	区間距離 m	9.40	22.50	40.20	6.00 8.40
地盤高		2.18	2.08	2.19	2.31	2.39 2.42 2.45
土被り		2.49	1.90 1.98	2.02 1.42	1.36 1.34	1.12 1.10 1.08 1.06 1.03
管底高		-1.194	-0.701 -0.351	-0.280 -0.325	0.496 0.516	0.822 0.842 0.888 0.908 0.972
掘削深		-	3.16 2.77 1.97	(1.94)	1.91 1.89	1.67 1.65 1.63 1.61 1.58
追加距離		0.00	82.12	91.52	114.02	154.22 160.22 168.62
区間距離		0.00	82.12	9.40	22.50	40.20 6.00 8.40

平面図



A — A

B — B



注記
・埋戻し材料は砂とする。

令和4年度 公共下水道事業（雨水）	
工事名	城町第2排水区雨水管新設工事（4-1区）
工事場所	三原市 城町一丁目
図面番号	縮尺 1:30
M-5 マンホール構造図	
三原市	

— 参 考 資 料 —

令和 4 年度

城町第2排水区雨水管新設工事(4-1工区)

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 59 三原市 00-05.02.01(0)		≪凡例≫ Co・・・コンクリート As・・・アスファルト DT・・・ダンプトラック BH・・・バックホウ CC・・・クローラクレーン TC・・・トラッククレーン RTC・・・ラフテレーンクレーン
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 ICT補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	30 下水道工事(1) 02 市街地(DID補正) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
管路施設(推進工法)(中大口径推進)					Y1I03 レベル1
管きよ工	1	式			Y1I0301 レベル2
泥濃推進工	1	式			Y1I030103 レベル3
推進用鉄筋コンクリート管(泥濃)	1	式			Y1I03010301 レベル4
下水道推進工法用鉄筋コンクリート管 φ800×2430 標準管	79.7	m			F0017 00
切羽作業工 呼び径 800mm 砂質土・粘性土 昼間施工 (直線)	67	本			
	10.3	m			SG1D0411001 00 単第0 -0001 表
切羽作業工 呼び径 800mm 砂質土・粘性土 昼間施工 (曲線)	25.5	m			SG1D0411001 00 単第0 -0003 表
切羽作業工 呼び径 800mm 砂質土・粘性土 昼間施工 (曲線後直線)	43.9	m			SG1D0411001 00 単第0 -0005 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
坑内作業工 呼び径 800mm 砂質土・粘性土 昼間施工 (直線)	10.3	m			SG1D0411002 00 単第0 -0007 表
坑内作業工 呼び径 800mm 砂質土・粘性土 昼間施工 (曲線)	25.5	m			SG1D0411002 00 単第0 -0010 表
坑内作業工 呼び径 800mm 砂質土・粘性土 昼間施工 (曲線後直線)	43.9	m			SG1D0411002 00 単第0 -0012 表
坑外作業工 呼び径 800mm 砂質土・粘性土 昼間施工 (直線)	10.3	m			SG1D0411003 00 単第0 -0014 表
坑外作業工 呼び径 800mm 砂質土・粘性土 昼間施工 (曲線)	25.5	m			SG1D0411003 00 単第0 -0016 表
坑外作業工 呼び径 800mm 砂質土・粘性土 昼間施工 (曲線後直線)	43.9	m			SG1D0411003 00 単第0 -0018 表
機械器具損料(1) 機械器具損料	1	式			SG1L0411012 00 単第0 -0020 表
機械器具損料(1) 電力料	1	式			SG1L0411012 00 単第0 -0021 表
機械器具損料(2)	1	式			SG1L0411013 00 単第0 -0022 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
機械器具損料(3)	1	式			SG1L0411023 00 単第0 -0023 表
発生土処理	1	式			Y1I03010302レベル4
建設汚泥運搬工 8 t 車 距離60. 0km以下	99	m3			V0001 00 単第0 -0024 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
泥水処理費	99	m3			F0001 00
裏込め	79.7	m			Y1I03010303レベル4
裏込注入工 泥水式・泥濃式推進	79.7	m			SG1D0109002 00 単第0 -0026 表
管目地	66	箇所			Y1I03010304レベル4
目地モルタル工	66	箇所			SG1D0110001 00 単第0 -0027 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
立坑内管布設工	1	式			Y1I030104 レベル3
鉄筋コンクリート管 【管規格】 φ 800	0.9	m			Y1I03010401 レベル4
鉄筋コンクリート管布設工 呼び径 800mm	0.9	m			SG1D0004001 00 単第0 -0029 表
モルタル練 普通 混合比1:1	0.2	m3			SPK22040145 00 単第0 -0031 表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	0.3	m2			SPK22040146 00 単第0 -0032 表
仮設備工(泥水式・泥濃式推進)	1	式			Y1I030106 レベル3
支圧壁	1	箇所			Y1I03010601 レベル4
支圧壁工	1	箇所			V0005 00 単第0 -0033 表
クレーン設備組立撤去	1	箇所			Y1I03010602 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
クレーン設備工 泥水式・泥濃式推進 呼び径 800～1,100mm	1	箇所			SG1D0113002 00 単第0 -0041 表
坑口	2	箇所			Y1I03010603レベル4
発進坑口工	1	箇所			SG1E0114002 00 単第0 -0042 表
到達坑口工	1	箇所			SG1E0114002 00 単第0 -0044 表
鏡切り	2	箇所			Y1I03010604レベル4
鏡切り工 泥水式・泥濃式推進工法 呼び径 800mm	1	箇所			SG1D0100006 00 単第0 -0045 表
鏡切り工 泥水式・泥濃式推進工法 呼び径 800mm	1	箇所			SG1D0100006 00 単第0 -0047 表
推進用機器据付撤去	1	箇所			Y1I03010605レベル4
推進用機器据付撤去工 泥水式・泥濃式推進 呼び径 800～1,100mm	1	箇所			SG1D0119001 00 単第0 -0048 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
掘進機引上用受台	1	箇所			Y1I03010607レベル4
掘進機引上用受台設置工	1.04	t			SG1D0121001 00 単第0 -0050 表
掘進機引上用受台撤去工	1.04	t			SG1D0121002 00 単第0 -0052 表
掘進機据付	1	箇所			Y1I03010608レベル4
掘進機据付工 泥濃式 砂質土・粘性土 呼び径 800～1,100mm	1	台			SG1D0122001 00 単第0 -0054 表
掘進機搬出	1	箇所			Y1I03010610レベル4
推進機分解工	1	式			V0003 00 単第0 -0055 表
推進機到達回収工	1	式			V0004 00 単第0 -0056 表
通信・換気設備工	1	式			Y1I030107 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
通信配線設備	1	式			Y1I03010701 レベル4
通信配線設備工 泥水式・泥濃式推進	1	式			SG1D0125001 00 単第0 -0058 表
送・排泥設備工	1	式			Y1I030108 レベル3
送・排泥設備(泥濃式推進)	1	式			Y1I03010802 レベル4
高濃度泥水注入設備工 組立工・撤去工	1	箇所			SG1D0412001 00 単第0 -0059 表
吸泥排土設備工 組立工・撤去工	1	箇所			SG1D0412002 00 単第0 -0060 表
排土貯留槽設置撤去工 容量 20m3 設置・撤去	1	箇所			SG1D0412003 00 単第0 -0061 表
管内設備撤去工 呼び径 800mm	1	式			SG1D0412004 00 単第0 -0062 表
注入設備工	1	式			Y1I030110 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
注入設備	1	箇所			Y1I03011001 レベル4
注入設備工 泥水式・泥濃式推進 呼び径 800～3,000mm 設置撤去工	1	箇所			SG1D0127001 00 単第0 -0063 表
推進水替工	1	式			Y1I0301111 レベル3
推進用水替	1	式			Y1I03011101 レベル4
ポンプ運転工 φ150	43	日			SG1D0042001 00 単第0 -0064 表
据付・撤去工	1	現場			SG1D0042002 00 単第0 -0066 表
マンホール工	1	式			Y1I0102 レベル2
組立マンホール工	1	式			Y1I010202 レベル3
組立3号マンホール	1	箇所			Y1I01020204 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
雨水用人孔鉄蓋(市章デザイン入・ロック式転落防 φ 600用 T-25	1	組			F0014 00
変形防止調整金具	1	箇所			F0013 00
円形1号(内径900)I種 斜壁 600×900×300	1	個			TH003064 00
直壁 φ 900 H=300	1	個			F0006 00
中間斜壁 φ 900-1500 H=300	1	個			F0007 00
躯体ブロック φ 1500 H=1800	1	個			F0008 00
底盤 H=150	1	個			F0009 00
可とう継手 HP φ 800	2	個			F0010 00 M-2
マンホール付属品 調整リング 600×150	1	個			TH003102 00

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
無収縮モルタル 25kg袋	1	袋			TH003190 00
底部工(組立式)(組立3号マンホール)	1	箇所			SG1D0055001 00 単第0 -0067 表
組立3号マンホール 3号(内径1500mm) 深さ4m以下	1	箇所			SG1D0055002 00 単第0 -0068 表
立坑工 M-5	1	式			Y1I0302 レベル2
管路土工	1	式			Y1I030201 レベル3
管路掘削	1	式			Y1I03020101 レベル4
機械掘削工(バックホウ)	14	m3			SG1D0001002 00 単第0 -0069 表
発生土処理	1	式			Y1I03020103 レベル4
発生土運搬工(4t積級)	35	m3			SG1E0003002 00 単第0 -0071 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
発生土受入費	35	m3			F0003 00
ライナープレート式土留工及び土工	1	式			Y1I030203 レベル3
ガイドコンクリート	1	m			Y1I03020301レベル4
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	0.9	m3			SPK22040144 00 単第0 -0073 表
型枠 一般型枠 小型構造物	3.4	m2			SPK22040146 00 単第0 -0074 表
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工	1	m3			SDT00031 00 単第0 -0075 表
殻運搬処理	1	m3			Y1I03040105レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離3.3km以下(1.6km超)	1	m3			SPK22040142 00 単第0 -0076 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
再資源化施設受入費 コンクリート殻 無筋	3	t			F0004 00
ライナープレート掘削土留	2.7	m			Y1I03020302レベル4
ライナープレート掘削土留工(機械掘削) 円形 径 2,000~3,900mm 最大掘削深 4.0mまで	2.7	m			SG1D0610002 00 単第0 -0077 表
グラウト注入	2	m3			S0348 00 単第0 -0080 表
ライナープレート埋戻	20	m3			Y1I03020303レベル4
機械投入埋戻工(バックホウ)	20	m3			SG1D0002003 00 単第0 -0081 表
ライナープレート撤去工 円形 径 1,500~3,000mm	0.99	m			SG1D0611001 00 単第0 -0083 表
ライナープレート存置	1	式			Y1I03020305レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ライナープレート (円形) φ 3000 黒皮 t=2.7mm	3	m			F0018 00
ライナープレート (円形) φ 3000 補強リング	3	m			F0019 00
【諸経費対象外】					#0046
スクラップ H1	0.4	t			F0005 00
立坑基礎工	1	式			Y1I03020306 レベル4
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	1.1	m3			SPK22040144 00 単第0 -0084 表
基礎碎石 碎石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下 RC-40	7	m2			SPK22040034 00 単第0 -0085 表
管路路面覆工	1	式			Y1I030207 レベル3
覆工	1	式			Y1I03020701 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
覆工板・覆工板受桁設置撤去工 推進立坑 覆工板設置面積50m2以下	16	m2			SG1D0038001 00 単第0 -0086 表
覆工板・覆工板受桁設置撤去工 推進立坑 覆工板設置面積50m2以下	16	m2			SG1D0038001 00 単第0 -0088 表
覆工板賃料	16	m2			SHD10015 00 単第0 -0089 表
覆工板受桁及び覆工板受桁受賃料 設置面積700m2以下	16	m2			SHD10017 00 単第0 -0090 表
覆工板開閉工 開削覆工 覆工板設置面積100m2以下	64	m2・1回			SG1D0038004 00 単第0 -0091 表
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	0.2	m3			SPK22040144 00 単第0 -0073 表
型枠 一般型枠 小型構造物	0.9	m2			SPK22040146 00 単第0 -0074 表
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工	0.2	m3			SDT00031 00 単第0 -0075 表
殻運搬処理	0.2	m3			Y1I03040105レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離3.3km以下(1.6km超)	0.2	m3			SPK22040142 00 単第0 -0076 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
再資源化施設受入費 コンクリート殻 無筋	0.5	t			F0004 00
補助地盤改良工	1	式			Y1I030210 レベル3
薬液注入	1	式			Y1I03021001 レベル4
薬液注入工 M-2 到達立坑 坑口	4	本			SG1D0039001 00 単第0 -0092 表
薬液注入工 M-5 発進立坑 側壁部	22	本			SG1D0039001 00 単第0 -0096 表
薬液注入工 M-5 発進立坑 底版部	8	本			SG1D0039001 00 単第0 -0097 表
薬液注入工 M-5 発進立坑 下流側坑口	1	本			SG1D0039001 00 単第0 -0098 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
注入設備据付・解体工(車上)	1	現場			SG1D0039004 00
付帯工	1	式			単第0 -0099 表 Y1I0304 レベル2
舗装撤去工	1	式			Y1I030401 レベル3
舗装版破碎(小規模)	19	m2			Y1I03040103 レベル4
舗装版破碎積込(小規模土工)	19	m2			SPK22040018 00
殻運搬処理	1	m3			単第0 -0102 表 Y1I03040105 レベル4
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離11.0km以下(8.0km超)	1	m3			SPK22040142 00
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					単第0 -0103 表 #0041
アスファルト殻受入費	2	t			F0015 00

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管路土工	1	式			Y1I030402 レベル3
管路掘削	1	式			Y1I03040201 レベル4
機械掘削工(小型バックホウ)	2	m3			SG1D0001001 00 単第0 -0104 表
発生土処理	1	式			Y1I03040203 レベル4
発生土運搬工(4t積級, 2t積級, 機械積込み)	2	m3			SG1E0003002 00 単第0 -0106 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
発生土受入費	2	m3			F0003 00
舗装仮復旧工	1	式			Y1I030404 レベル3
上層路盤(車道・路肩部)	19	m2			Y1I03040404 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
上層路盤(車道・路肩部) RM-40 全仕上り厚180mm 2層施工	19	m2			SPK22040228 00 単第0 -0107 表
表層(車道・路肩部)	19	m2			Y1I03040408 レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚30mm	19	m2			SPK22040235 00 単第0 -0108 表
ブロック舗装(インターロッキング)	19	m2			Y1I03040410 レベル4
インターロッキングブロック工(設置) 直線配置 ブロック厚6cm 特殊品 [規]100m2未満	19	m2			SS000115 00 単第0 -0109 表
インターロッキングブロック工(撤去再使用) 再使用目的の撤去 [規]100m2未満	19	m2			SS000117 00 単第0 -0110 表
道路付属物復旧工	1	式			Y1I030407 レベル3
菅(函)渠型側溝	4.8	m			Y1I03040702 レベル4
菅(函)渠型側溝 据付 200mm以上300mm以下 円形側溝(各種) 基礎碎石有り	4.8	m			SPK22040086 00 単第0 -0111 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
歩車道境界ブロック	4.8	m			Y1I03040709 レベル4
歩車道境界ブロック B型 再利用設置 RC-40	3.6	m			SPK22040282 00 単第0 -0112 表
歩車道境界ブロック C型 再利用設置 RC-40	1.2	m			SPK22040282 00 単第0 -0113 表
暗渠排水管	2.5	m			Y1I03040605 レベル4
暗渠排水管 据付 直管 200~400mm 硬質ポリ塩化ビニル管 VP 呼び径200mm	2.5	m			SPK22040084 00 単第0 -0114 表
仮設工	1	式			Y1I0205 レベル2
仮設工	1	式			Y1I010601 レベル3
交通誘導員	1	m			Y1I01060101 レベル4
交通誘導警備員B	109	人			R0369 00

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
直接工事費 #0020計=支給品等(材料), 無償貸付					
運搬費					Z0004
運搬費					YZZ04 レベル2
	1	式			
運搬費					YZZ04001 レベル3
	1	式			
仮設材運搬費					YZZ04001004 レベル4
	5.6	t			
仮設材等(鋼矢板, H鋼, 覆工板, 敷鉄板等)運搬 運搬距離 0.6km 製品長 12m以内					S1000007 00
	1	式			単第0 -0115 表
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					
共通仮設費計					

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
純工事費 現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					
工事原価 一般管理费率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率…
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額
一般管理費計 **工事価格** **消費税相当額** 計算情報…… 対象額…… 率……					
工事費計					

施工単価表

坑内作業工

SG1D0411Z02

単第0 -0008 表

呼び径 800mm 砂質土・粘性土

昼間施工

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
トンネル世話役	1.0	人			
トンネル特殊工	1.0	人			
トンネル作業員	1.0	人			
滑剤	434.000	L			62*7
高濃度泥水	2.800	m3			単第0-0009 表 0.4*7
諸雑費	5	%			#09
1m当り(計/推進日進量)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 呼び径 800mm C=1 - F=1 滑材【登録単価CODE】(L)			B=1 砂質土・粘性土 E=1 昼間施工 H=2 粉末粘土【登録単価CODE】(kg)		
I=3 増粘剤【登録単価CODE】(kg) K=5 水【登録単価CODE】(kg)			J=4 目詰材【登録単価CODE】(kg)		

施工単価表

坑内作業工

SG1D0411Z02

単第0 -0011 表

呼び径 800mm 砂質土・粘性土

昼間施工

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
トンネル世話役	1.0	人			
トンネル特殊工	1.0	人			
トンネル作業員	1.0	人			
滑剤	390.600	L			62*6.3
高濃度泥水	2.520	m3			単第0-0009 表 0.4*6.3
諸雑費	5	%			#09
1m当り(計/推進日進量)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 呼び径 800mm C=2 曲線部 E=1 昼間施工			B=1 砂質土・粘性土 D=2 曲線半径 100m以上300m未満 F=1 滑材【登録単価CODE】(L)		
H=2 粉末粘土【登録単価CODE】(kg) J=4 目詰材【登録単価CODE】(kg)			I=3 増粘剤【登録単価CODE】(kg) K=5 水【登録単価CODE】(kg)		

施工単価表

坑内作業工

SG1D0411Z02

単第0 -0013 表

呼び径 800mm 砂質土・粘性土

昼間施工

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
トンネル世話役	1.0	人			
トンネル特殊工	1.0	人			
トンネル作業員	1.0	人			
滑剤	368.900	L			62*5.95
高濃度泥水	2.380	m3			単第0-0009 表 0.4*5.95
諸雑費	5	%			#09
1m当り(計/推進日進量)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 呼び径 800mm C=3 曲線後直線 E=1 昼間施工			B=1 砂質土・粘性土 D=2 曲線半径 100m以上300m未満 F=1 滑材【登録単価CODE】(L)		
H=2 粉末粘土【登録単価CODE】(kg) J=4 目詰材【登録単価CODE】(kg)			I=3 増粘剤【登録単価CODE】(kg) K=5 水【登録単価CODE】(kg)		

施工単価表

頁0 -0043

機械器具損料(1)

SG1L0411012

単第0 -0020 表

機械器具損料

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
推進機本体 φ800	32.000	供用日			1*32
推進機本体修理費	1	現場			
姿勢検出装置	32.000	供用日			1*32
電気ホイスト損料	21.000	運転日			1*21
電気ホイスト損料	32.000	供用日			1*32
門型クレーン損料	32.000	供用日			1*32
多段式ジャッキ	32.000	供用日			1*32
グラウトポンプ 横型二連複動ピストン式 吐出量37~100L/min	21.000	日			1*21
グラウトポンプ 横型二連複動ピストン式 吐出量37~100L/min	32.000	供用日			1*32
グラウトミキサ グラウトミキサ[立型1槽 攪拌容量200L×1槽	21.000	日			1*21
グラウトミキサ グラウトミキサ[立型1槽 攪拌容量200L×1槽	32.000	供用日			1*32
グラウトポンプ 横型二連複動ピストン式 吐出量37~100L/min	21.000	日			1*21

施工単価表

機械器具損料(1)

SG1L0411012

単第0 -0020 表

機械器具損料

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
グラウトポンプ 横型二連複動ピストン式 吐出量37～100L/min	32.000	供用日			1*32
グラウトミキサ グラウトミキサ[立型1槽 攪拌容量200L×1槽	21.000	日			1*21
グラウトミキサ グラウトミキサ[立型1槽 攪拌容量200L×1槽	32.000	供用日			1*32
*** 単位当たり ***	1	式			
A=2 機械器具損料 F=32 掘進機供用日数(日) H=8 掘進機1現場当り修理費【登C】(現場)			B=1 呼び径 800mm G=7 掘進機損料【登録単価CODE】(供用日) J=2 姿勢検出装置を計上する場合		
L=32 姿勢検出装置供用日数(日) Q=21 電動ホイスト運転日数(日) S=10 電動ホイスト損料【登録単価CODE】(運転日)			M=9 姿勢検出装置損料【登録単価CODE】(供用日) R=32 電動ホイスト供用日数(日) T=11 電動ホイスト損料【登録単価CODE】(供用日)		
V=32 門型クレーン供用日数(日) Y=32 多段ジャッキ供用日数(日) 28=21 グラウトポンプ(滑材)運転日数(日)			W=12 門型クレーン損料【登録単価CODE】(供用日) Z=13 多段ジャッキ損料【登録単価CODE】(供用日) 29=32 グラウトポンプ(滑材)供用日数(日)		
30=21 グラウトミキサ(滑材)運転日数(日) 32=21 グラウトポンプ(裏込)運転日数(日) 34=21 グラウトミキサ(裏込)運転日数(日)			31=32 グラウトミキサ(滑材)供用日数(日) 33=32 グラウトポンプ(裏込)供用日数(日) 35=32 グラウトミキサ(裏込)供用日数(日)		

施工単価表

機械器具損料(1)
電力料

SG1L0411012

単第0 -0021 表

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
掘進機	770.800	kW			
電動ホイスト	61.600	kW			
門型クレーン	25.000	kW			
多段ジャッキ(元押)	864.800	kW			
グラウトポンプ(滑材)	299.390	kW			
グラウトミキサ(滑材)	76.440	kW			
グラウトポンプ(裏込)	20.580	kW			
グラウトミキサ(裏込)	8.160	kW			
*** 単位当たり ***	1	式			
A=1 電力料 C=1 砂質土・粘性土 E=20 掘進機運転日数(日)			B=1 呼び径 800mm D=6 電力料【登録単価CODE】(kW) I=15.4 掘進機 機関出力(kW)		
J=1 - U=25 門型クレーン運転日数(日) 27=1 最大配置設備推進力 4,000kN			Q=20 電動ホイスト運転日数(日) X=23 多段ジャッキ運転日数(日) 28=13 グラウトポンプ(滑材)運転日数(日)		
30=13 グラウトミキサ(滑材)運転日数(日) 34=2 グラウトミキサ(裏込)運転日数(日)			32=2 グラウトポンプ(裏込)運転日数(日)		

施工単価表

機械器具損料(2)

SG1L0411013

単第0 -0022 表

頁0 -0047

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンプレッサ損料	21.000	運転日			1*21
コンプレッサ損料	32.000	供用日			1*32
吸泥排土設備損料	21.000	運転日			1*21
吸泥排土設備損料	32.000	供用日			1*32
グラウトポンプ(高濃度)損料 2.2kw	64.000	供用日			2*32
グラウトミキサ(高濃度)損料 500L	96.000	供用日			3*32
給水ポンプ損料	21.000	運転日			1*21
給水ポンプ損料	32.000	供用日			1*32
流量管理装置損料	21.000	運転日			1*21
流量管理装置損料	32.000	供用日			1*32
制御装置損料	32.000	供用日			1*32
排土コンテナタンク損料 0.7m3	32.000	供用日			1*32

施工単価表

機械器具損料(2)

SG1L0411013

単第0 -0022 表

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
排土貯留槽損料 20m3	32.000	供用日			1*32
給水タンク損料 3m3	32.000	供用日			1*32
*** 単位当たり ***	1	式			
A=2 機械器具損料 E=21 コンプレッサ運転日数(日) G=14 【F】コンプレッサ損料(運転日)			B=1 呼び径 800mm F=32 コンプレッサ供用日数(日) H=15 【F】コンプレッサ損料(供用日)		
I=21 吸泥排土設備運転日数(日) K=16 【F】吸泥排土設備損料(運転日) N=32 グラウトポンプ(高濃度泥水)供用日数(日)			J=32 吸泥排土設備供用日数(日) L=17 【F】吸泥排土設備損料(供用日) O=18 【F】グラウトポンプ(高濃度)損料(供用日)		
Q=32 グラウトミキサ(高濃度泥水)供用日数(日) S=21 給水ポンプ運転日数(日) U=20 【F】給水ポンプ損料(運転日)			R=19 【F】グラウトミキサ(高濃度)損料(供用日) T=32 給水ポンプ供用日数(日) V=21 【F】給水ポンプ損料(供用日)		
Y=21 流量管理装置(高濃度泥水)運転日数(日) 27=22 【F】流量管理装置損料(運転日) 29=32 制御装置(高濃度泥水・滑材)供用日数(日)			Z=32 流量管理装置(高濃度泥水)供用日数(日) 28=23 【F】流量管理装置損料(供用日) 30=24 【F】制御装置損料(供用日)		
31=32 排土コンテナタンク供用日数(日) 33=32 排土貯留槽供用日数(日) 35=32 給水タンク供用日数(日)			32=25 【F】排土コンテナタンク損料(供用日) 34=26 【F】排土貯留槽損料(供用日) 36=27 【F】給水タンク損料(供用日)		

施工単価表

機械器具損料(3)

SG1L0411023

単第0 -0023 表

頁0 -0049

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
排土管損料 φ125	2,469.440	供用日・m			77.17*32
排土管損料 φ125	77.170	現場・m			
サクシヨンホース損料 φ127	736.000	供用日・m			23*32
サクシヨンホース損料 φ127	23.000	現場・m			
高濃度泥水ホース損料 φ25	3,205.440	供用日・m			100.17*32
高濃度泥水ホース損料 φ25	100.170	現場・m			
エアーホース損料	1,293.285	運転日・m			61.585*21
*** 単位当たり ***	1	式			
A=1 呼び径 800mm C=23 坑外配管距離[地上配管距離+立坑配管距離] E=28 排土管損料【登録単価CODE】(供用日・m)			B=77.17 D=32 F=29	管内配管距離(推進延長-掘進機長) 排土管供用日数(日) 排土管損料【登録単価CODE】(現場・m)	
G=32 サクシヨンホース供用日数(日) I=31 サクシヨンホース損料【登C】(現場・m) K=32 高濃度泥水ホース損料【登C】(供用日・m)			H=30 J=32 L=33	サクシヨンホース損料【登C】(供用日・m) 高濃度泥水ホース供用日数(日) 高濃度泥水ホース損料【登C】(現場・m)	
M=21 エアーホース運転日数(日)			N=34	エアーホース損料【登C】(運転日・m)	

施工単価表

裏込注入工
泥水式・泥濃式推進

SG1D0109002

単第0 -0026 表

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
トンネル世話役	1.0	人			
トンネル作業員	2.0	人			
特殊作業員	1.0	人			
普通作業員	2.0	人			
注入材料 セメント500kg フィルクレー125kg	2,542.000	L			62*41
諸雑費	3	%			#09
1m当り					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 砂質土・粘性土 C=1 元押 昼間施工			B=1 呼び径 800mm D=35 注入材料【登録単価CODE】(L)		

施工単価表

頁0 -0055

モルタル練

SPK22040145

単第0 -0028 表

高炉

混合比1:2

1

m3 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 62.18%

材料構成比: 37.82%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

45,170.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	62.18%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
セメント(袋) 高炉B種 25kg/袋	28.05%		セメント 高炉B 25kg袋入		TTPC00063 TTPT00063
コンクリート用砂 細目(洗い)	9.77%		砂 細目(洗い)		TTPC00066 TTPT00066
積算単価			積算単価		EP001
A=1 高炉 C=1 -(全ての費用)			B=2 混合比1:2		

施工単価表

鉄筋コンクリート管布設工
呼び径 800mm

SG1D0004001

単第0 -0029 表

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.41	人			
特殊作業員	0.82	人			
普通作業員	1.23	人			
BH(クローラ型クレーン機能付)運転 山積0.45m3(平積0.35)吊能力2.9t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.41	日			単第0-0030 表
諸雑費	1	%			#09
1m当り					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=10 呼び径 800mm					

施工単価表

型枠 SPK22040146 単第0 -0032 表
 一般型枠 鉄筋・無筋構造物 1 m2 当り
 機械構成比: 0.00% 労務構成比: 100.00% 材料構成比: 0.00% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 8,707.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	47.44%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	24.80%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.07%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=1 鉄筋・無筋構造物		

施工単価表

鋼材設置工

V0006

単第0 -0034 表

頁0 -0061

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.7	人			
とび工	3.2	人			
溶接工	1.7	人			
普通作業員	1.7	人			
機-18_ラフテレーンクレーン運転 25t吊 排出ガス対策型2次基準	1.7	日			単第0-0035 表
諸雑費	4	%			#01
全体割増		式			
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

鋼材撤去工

V0007

単第0 -0036 表

頁0 -0063

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1	人			
とび工	1.9	人			
溶接工	1	人			
普通作業員	1	人			
機-18_ラフテレーンクレーン運転 25t吊 排出ガス対策型2次基準	1	日			単第0-0035 表
諸雑費	6	%			#01
全体割増		式			
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

コンクリート工

V0008

単第0 -0037 表

頁0 -0064

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.57	人			
特殊作業員	0.79	人			
普通作業員	1.25	人			
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18, スランプ5, 粗骨材40 W/C(60%), 種別(普通)	10.7	m3			
養生工	1	式			単第0-0038 表
諸雑費	7	%			#01
全体割増		式			
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

頁0 -0066

コンクリートはつり

SPK22040108

単第0 -0039 表

平均はつり厚3cmを超え6cm以下

1

m2 当り

機械構成比: 1.60%

労務構成比: 94.79%

材料構成比: 3.61%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

7,707.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<貸>空気圧縮機(エンジンコンプレッサ) 吐出量5m3/min 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.56%		空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型] 5m3/min		KTPC00030 KTPT00030
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	41.70%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	30.82%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	19.51%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	3.51%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

クレーン設備工
泥水式・泥濃式推進

SG1D0113002

単第0 -0041 表

呼び径 800～1,100mm

1

箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
特殊作業員	6.0	人			
電工	4.5	人			
普通作業員	7.5	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 4.9t吊,オペレータ付 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	2.5	日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=1 呼び径 800～1,100mm					

施工単価表

鋼材溶接工

SG1E0098001

単第0 -0043 表

頁0 -0071

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.010	人			
溶接工	0.076	人			
普通作業員	0.021	人			
電力料	2.7	kWh			
被覆アーク溶接棒 高張力鋼用(JISZ3211)E4916 棒径5.0mm	0.4	kg			
電気溶接機 交流アーク式(手動・電撃防止器内蔵型) 定格電流250A	0.076	日			
諸雑費	30	%			#09
*** 単位当たり ***	1	m			
A=6 電力料【登録単価CODE】(kWh)					

施工単価表

切梁・腹起し設置, 撤去
設置

S1050039

単第0 -0051 表

10 t 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.700	人			
とび工	3.200	人			
溶接工	1.700	人			
普通作業員	1.700	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊, オペレータ付 排出ガス対策型(第1, 2, 3次基準値)低騒音	1.700	日			
諸雑費	4	%			#09
*** 合計 ***	10	t			
*** 単位当たり ***	1	t			
A=1 設置 C=1 -			B=1 - D=1 ラフテレーンクレーン25t吊		

施工単価表

切梁・腹起し設置, 撤去
撤去

S1050039

単第0 -0053 表

10 t 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.000	人			
とび工	1.900	人			
溶接工	1.000	人			
普通作業員	1.000	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊, オペレータ付 排出ガス対策型(第1, 2, 3次基準値)低騒音	1.000	日			
諸雑費	6	%			#09
*** 合計 ***	10	t			
*** 単位当たり ***	1	t			
A=2 撤去 C=1 -			B=1 - D=1 ラフテレーンクレーン25t吊		

施工単価表

注入設備工
泥水式・泥濃式推進

SG1D0127001

単第0 -0063 表

呼び径 800～3,000mm 設置撤去工

1

箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.000	人			
溶接工	1.000	人			
特殊作業員	1.000	人			
電工	1.000	人			
普通作業員	1.000	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 4.9t吊,オペレータ付 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.000	日			
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=1 設置撤去工					

施工単価表

頁0 -0101

コンクリート

SPK22040144

単第0 -0073 表

小型構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 4.31%

労務構成比:

39.87%

材料構成比: 55.82%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

29,703.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	4.07%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	11.78%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	10.81%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.98%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.70%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	53.94%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.78%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

型枠 SPK22040146 単第0 -0074 表 1
 一般型枠 小型構造物 m2 当り
 機械構成比: 0.00% 労務構成比: 100.00% 材料構成比: 0.00% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 7,866.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	45.15%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.47%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.34%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

施工単価表

殻運搬 SPK22040142 単第0 -0076 表
 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離3.3km以下(1.6km超) 1 m3 当り
 機械構成比: 43.25% 労務構成比: 42.18% 材料構成比: 14.57% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,155.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	43.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	42.18%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	14.57%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=14 運搬距離3.3km以下(1.6km超)		

施工単価表

ライナープレート掘削土留工(機械掘削)

SG1D0610002

単第0 -0077 表

円形 径 2,000~3,900mm

最大掘削深 4.0mまで

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.540	人			
トンネル特殊工	1.620	人			
普通作業員	0.540	人			
機-18_バックホウ(クローラ型)運転 112_標準型 排1 山積0.45m3(平積0.35m3)	0.54	日			単第0-0078 表
機-18_トラック運転 021_クレーン装置付 ベーストラック4t級 吊能力2.9t	0.54	日			単第0-0079 表
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 円形 径 2,000~3,900mm C=1 最大掘削深 4.0mまで			B=1	砂質土及び粘性土	

施工単価表

グラウト注入

S0348

単第0 -0080 表

頁0 -0109

10

m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.490	人			
特殊作業員	0.980	人			
普通作業員	0.490	人			
グラウト材	11.400	L			
諸雑費	21	%			#09
*** 合計 ***	10	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=38 グラウト材【登録単価CODE】(m3)					

施工単価表

機械投入埋戻工(バックホウ)

SG1D0002003

単第0 -0081 表

頁0 -0110

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
購入土砂(ほぐし)	133.000	m3			
機-01_バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	7.6	時間			単第0-0070 表
タンパ締固め	100	m3			単第0-0082 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 山積0.28m3 D=39 【F】埋戻土各種(m3)			C=5 埋戻土(各種) E=133 土量変化率を考慮した埋戻土量(m3/100m3)		

施工単価表

頁0 -0111

タンパ締固め

SPK22040021

単第0 -0082 表

機械構成比: 1.36% 労務構成比: 97.27% 材料構成比: 1.37% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,428.10000

1 m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>タンパ(ランマ) 質量60~80kg	1.36%		タンパ及びランマ 質量60~80kg		KTPC00020 KTPT00020
特殊作業員	51.90%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	45.37%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.37%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

頁0 -0113

コンクリート

SPK22040144

単第0 -0084 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 4.44%

労務構成比:

37.63%

材料構成比: 57.93%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

28,884.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<貸>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	4.19%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	11.11%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	10.09%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.32%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.89%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	55.99%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.83%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0115

基礎砕石

SPK22040034

単第0 -0085 表

砕石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.37%

労務構成比: 67.26%

材料構成比: 27.37%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,253.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	5.34%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	32.29%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	13.99%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	12.65%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	7.87%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40~0mm	22.97%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	4.37%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

覆工板・覆工板受桁設置撤去工
推進立坑 覆工板設置面積50m2以下

SG1D0038001

単第0 -0086 表

1 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	3.45	人			
とび工	6.90	人			
溶接工	3.45	人			
普通作業員	3.45	人			
BH(クローラ型クレーン機能付)運転 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	3.45	日			単第0-0087 表
諸雑費	9	%			#09
1m2当り					
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 山積0.28m3 クレーン付1.7t吊			B=1 設置		

施工単価表

覆工板・覆工板受桁設置撤去工
推進立坑 覆工板設置面積50m2以下

SG1D0038001

単第0 -0088 表

1 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.10	人			
とび工	4.20	人			
溶接工	2.10	人			
普通作業員	2.10	人			
BH(クローラ型クレーン機能付)運転 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	2.10	日			単第0-0087 表
諸雑費	11	%			#09
1m2当り					
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 山積0.28m3 クレーン付1.7t吊			B=2 撤去		

施工単価表

薬液注入工
M-2 到達立坑 坑口

SG1D0039001

単第0 -0092 表

1 本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.104	人			
特殊作業員	0.313	人			
普通作業員	0.209	人			
土質安定注入薬剤 溶液型無機瞬結タイプ	773.250	L			
ボーリングマシン 油圧式 5.5kW級	0.209	日			
薬液注入施工機器 薬液注入ポンプ 吐出量5~20L/min×2圧力9.8MPa	0.209	日			
削孔消耗材料費	2.170	m			単第0-0093 表
削孔消耗材料費	1.784	m			単第0-0094 表
注入消耗材料費	0.773	kL			単第0-0095 表 773.25/1000
諸雑費	20	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=1 単相方式 2セット C=2.17 砂質土の削孔長(m) E=3.093 総注入量(kL)			B=0 礫質土の削孔長(m) D=1.784 粘性土の削孔長(m) F=4 注入本数(本)		

施工単価表

薬液注入工
M-5 発進立坑 側壁部

SG1D0039001

単第0 -0096 表

1 本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.152	人			
特殊作業員	0.456	人			
普通作業員	0.304	人			
土質安定注入薬剤 溶液型無機瞬結タイプ	1,356.182	L			
ボーリングマシン 油圧式 5.5kW級	0.304	日			
薬液注入施工機器 薬液注入ポンプ 吐出量5~20L/min×2圧力9.8MPa	0.304	日			
削孔消耗材料費	2.790	m			単第0-0093 表
削孔消耗材料費	2.221	m			単第0-0094 表
注入消耗材料費	1.356	kL			単第0-0095 表 1356.182/1000
諸雑費	20	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=1 単相方式 2セット C=2.79 砂質土の削孔長(m) E=29.836 総注入量(kL)			B=0 礫質土の削孔長(m) D=2.221 粘性土の削孔長(m) F=22 注入本数(本)		

施工単価表

薬液注入工
M-5 発進立坑 底版部

SG1D0039001

単第0 -0097 表

1 本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.096	人			
特殊作業員	0.289	人			
普通作業員	0.193	人			
土質安定注入薬剤 溶液型無機瞬結タイプ	520.625	L			
ボーリングマシン 油圧式 5.5kW級	0.193	日			
薬液注入施工機器 薬液注入ポンプ 吐出量5~20L/min×2圧力9.8MPa	0.193	日			
削孔消耗材料費	2.790	m			単第0-0093 表
削孔消耗材料費	2.221	m			単第0-0094 表
注入消耗材料費	0.521	kL			単第0-0095 表 520.625/1000
諸雑費	20	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=1 単相方式 2セット C=2.79 砂質土の削孔長(m) E=4.165 総注入量(kL)			B=0 礫質土の削孔長(m) D=2.221 粘性土の削孔長(m) F=8 注入本数(本)		

施工単価表

薬液注入工

SG1D0039001

単第0 -0098 表

M-5 発進立坑 下流側坑口

1 本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.100	人			
特殊作業員	0.299	人			
普通作業員	0.199	人			
土質安定注入薬剤 溶液型無機瞬結タイプ	778.000	L			
ボーリングマシン 油圧式 5.5kW級	0.199	日			
薬液注入施工機器 薬液注入ポンプ 吐出量5～20L/min×2圧力9.8MPa	0.199	日			
削孔消耗材料費	1.861	m			単第0-0093 表
削孔消耗材料費	1.500	m			単第0-0094 表
注入消耗材料費	0.778	kL			単第0-0095 表 778/1000
諸雑費	20	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=1 単相方式 2セット C=1.861 砂質土の削孔長(m) E=0.778 総注入量(kL)			B=0 礫質土の削孔長(m) D=1.5 粘性土の削孔長(m) F=1 注入本数(本)		

施工単価表

注入設備据付・解体工(車上)

SG1D0039004

単第0 -0099 表

頁0 -0134

1 現場 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.0	人			
特殊作業員	2.6	人			
普通作業員	3.7	人			
トラック運転 021_クレーン装置付 ベーストラック4t級 吊能力2.9t	14.5	時間			単第0-0100 表
トラック 普通型 4~4.5t積	3.600	日			2*1.8 供用日の割増率 α
諸雑費	1	式			
トラック損料(注入時)	7.011	日			単第0-0101 表
*** 単位当たり ***	1	現場			
A=37.86 総注入量(kL) C=9 1日当り施工本数(本)			B=1.08 1本当り注入量(kL/本) D=1.8 供用日の割増率 α		

施工単価表

殻運搬 SPK22040142 単第0 -0103 表
 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離11.0km以下(8.0km超) 1 m3 当り
 機械構成比: 19.63% 労務構成比: 71.11% 材料構成比: 9.26% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 6,680.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	19.63%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	71.11%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	9.26%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(小規模土工) D=45 運搬距離11.0km以下(8.0km超)		

施工単価表

頁0 -0142

上層路盤(車道・路肩部)

SPK22040228

単第0 -0107 表

RM-40

全仕上り厚180mm 2層施工

1

m2 当り

機械構成比: 12.76%

労務構成比:

38.16%

材料構成比: 49.08%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

890.35000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	5.16%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マタダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	4.00%		ロードローラ マタダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.30%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	17.65%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	6.10%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	5.82%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	1.71%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)

SPK22040228

単第0 -0107 表

RM-40

全仕上り厚180mm 2層施工

1

m2 当り

機械構成比: 12.76%

労務構成比:

38.16%

材料構成比: 49.08%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

890.35000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生粒度調整碎石 40~0mm	45.70%		再生粒度調整碎石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚200mm		TTPC00009 TTPT00358
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	2.77%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 H=1 RM-40 -(全ての費用)			E=180 全仕上り厚(mm)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):180.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0144

表層(車道・路肩部)

SPK22040235

単第0 -0108 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当たり平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.52%

労務構成比:

45.10%

材料構成比: 54.38%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,441.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.30%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクタ 前進型 運転質量40~60kg	0.15%		振動コンパクタ 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	20.23%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	14.15%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.17%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	49.49%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	4.72%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

施工単価表

頁0 -0145

表層(車道・路肩部)

SPK22040235

単第0 -0108 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.52%

労務構成比:

45.10%

材料構成比:

54.38%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

2,441.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.12%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.03%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=30 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):30.000(mm)					

施工単価表

インターロッキングブロック工(設置)
直線配置

SS000115

単第0 -0109 表

ブロック厚6cm 特殊品 [規]100m2未満

1

m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
設置【材工共】 直線配置 厚6cm	1.000	m2			
標準ブロック 厚60mm	-1.020	m2			
インターロッキング再利用品	1.020	m2			
再生砂	0.039	m3			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 直線配置 C=2 特殊品 E=2 再生砂 I=2 [規]100m2未満			B=1 ブロック厚6cm D=41 特殊品材料単価【登録単価CODE】(m2) H=0.03 敷材料の厚さ(m) K=1 -		

施工単価表

頁0 -0148

管（函）渠型側溝

SPK22040086

単第0 -0111 表

据付 200mm以上300mm以下

円形側溝(各種) 基礎碎石有り

1 m 当り

機械構成比: 1.89%

労務構成比: 20.02%

材料構成比: 78.09%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

17,612.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	1.40%		バックホウ クローラ型 クレーン機能付1.7t 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00019 KTPT00019
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	4.90%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.34%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	4.19%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	1.40%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
円形側溝	77.26%		円形側溝 縦断用 内径250mm T-25		F000000042 TTPT00375
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	0.62%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0150

歩車道境界ブロック

SPK22040282

単第0 -0112 表

B型

再利用設置 RC-40

1

m 当り

機械構成比: 4.62%

労務構成比: 91.98%

材料構成比: 3.40%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,453.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回小型バックホウ(クローラ) 山積0.09m3(平積0.07)吊能力0.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	3.84%		小型バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・クレーン機能付] 山積0.09m3(平積0.07m3)吊能力0.9t		KTPC00053 KTPT00053
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	0.78%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
特殊作業員	35.38%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	33.83%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	18.33%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	1.86%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.72%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
再生クラッシュラン 40~0mm	1.68%		再生クラッシュラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008

施工単価表

頁0 -0152

歩車道境界ブロック

SPK22040282

単第0 -0113 表

C型

再利用設置 RC-40

1

m 当り

機械構成比: 4.62%

労務構成比: 91.95%

材料構成比: 3.43%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,458.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回小型バックホウ(クローラ) 山積0.09m3(平積0.07)吊能力0.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	3.83%		小型バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・クレーン機能付] 山積0.09m3(平積0.07m3)吊能力0.9t		KTPC00053 KTPT00053
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	0.79%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
特殊作業員	35.35%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	33.83%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	18.31%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	1.88%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.73%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
再生クラッシュラン 40~0mm	1.70%		再生クラッシュラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008

施工単価表

暗渠排水管

SPK22040084

単第0 -0114 表

据付 直管 200～400mm

硬質ポリ塩化ビニル管 VP 呼び径200mm

1 m 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

13.58%

材料構成比: 86.42%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,985.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	9.75%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	3.83%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
一般管(VP)(JISK6741)PE 呼び径200(216×10.3) 参考質量10.129kg/m	86.42%		暗渠排水管 直管 呼び径300mm ポリエチレン吸水管		TTPC00208 TTPT00189
積算単価			積算単価		E9999
A=1 据付 C=2 200～400mm G=3 期間3～6ヶ月未満(損料率0.3) I=1 -(全ての費用)			B=1 直管 D=53 硬質ポリ塩化ビニル管 VP 呼び径200mm H=0 現場の状況による材料損料率の率乗算		
【管材料単価】					
管材料単価(円) * (材料損料率 + (材料損料率 * 現場状況による材料損料率の率乗算))					

— 数量総括表 —

令和4年度

城町第2排水区雨水管新設工事(4-1工区)

計 算 書

中大口径管推進工法 泥濃推進工

泥濃式推進工

集計表 (1/2)

費目(レベル1) 管路
 工種(レベル2) 管きょ工 φ800mm 泥濃式推進工法

種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	摘要	単位	数量
		区間延長	m	82.12
		推進延長	m	79.72
		管体延長	m	80.62
泥濃式推進工	推進用鉄筋コンクリート管(泥濃)		m	79.72
		推進用管 ※1	本	67
		切羽作業工 ※2	m	79.72
		坑内作業工 ※2	m	79.72
		滑材	L/日	384.4
		高濃度泥水	m ³ /日	2.734
		粘土	kg/m ³	240.0
		増粘材	kg/m ³	1.8
		目詰材	kg/m ³	10.0
		水	kg/m ³	891.6
		坑外作業工 ※2	m	79.72
		切羽・坑内・坑外作業工 直線	m	10.31
		曲線	m	25.52
		曲線後直線	m	43.89
	発生土処理		m ³	99
	裏込め	※3	m	79.72
		注入材量	L/日	3239
	管目地		箇所	66
	※1	SRj-a推進管 φ800mm L=1.21m/本 2種50N 内圧4P対応 SRC継手		
	※2	日進量=6.2m/日(8時間)		
	※3	裏込め日進量=41.0m/日		
立坑内管布設工	鉄筋コンクリート管	鉄筋コンクリート管布設工	m	0.90
	間詰め	モルタル	m ³	0.2
		型枠工	m ²	0.3

泥濃式推進工

集計表 (2/2)

費 目(レベル1) 管路
工 種(レベル2) 管きょ工 φ800mm 泥濃式推進工法

種 別 (レベル3)	細 別 (レベル4)	摘 要	単 位	数 量
仮設備工(泥濃式推進)	支圧壁	鋼製	箇所	1
	クレーン設備組立撤去		箇所	1
	坑口		箇所	2
		坑口工 発進坑口工	箇所	1
		到達坑口工	箇所	1
	鏡切り		箇所	2
		鏡切り工 発進口切断延長 ※1	m/箇所	7.0
		到達口切断延長 ※2	m/箇所	7.0
	推進用機器据付撤去		箇所	1
	掘進機引上用受台		箇所	1
		受台質量	t	1.04
	掘進機据付	φ800、普通土	台	1
	外筒残置	掘進機分解工 φ800	回	1
		掘進機到達回収工 φ800	回	1
	※1 ライナープレート t=2.7mm			
	※2 ライナープレート t=2.7mm			
通信・換気設備工	通信配線設備		式	1
		配線延長 L	m	205
送・排泥設備工	高濃度泥水注入設備工		箇所	1
	吸泥排土設備工		箇所	1
	排土貯留槽設置撤去工	20m3	箇所	1
	管内設備撤去工		m	79.72
注入設備工	注入設備		箇所	1
推進水替工	推進用水替		式	1

泥濃式推進工数量算定表 (2/3)

中大口径管推進工法 泥濃式 φ800					
種 別	細 目	算 定 式		単位	数 量
切羽作業工	砂質土・粘性土	L= (平均)日進量: 6.2 m/日		m	79.72
	直線	d= 10.312 m ÷ 7.0 m/日	= 1.47 日 ※日進量=7.0 白本P231	m	10.31
	曲線	d= 25.519 m ÷ 6.30 m/日	= 4.05 日 ※7.0×0.9(補正率) 白本P2	m	25.52
	曲線後直線	d= 43.887 m ÷ 5.95 m/日	= 7.38 日 ※7.0×0.85(補正率) 白本P	m	43.89
		d= m ÷ m/日	= 日		
		d= m ÷ m/日	= 日		
		ΣL= 79.718 m	6.2 m/日 (スパン平均) Σ d= 12.90 日		
坑内作業工		L=		m	79.72
	滑材	V= 62.0 L/m × 6.2 m/日	= 384.4 L/日		
		滑材の単位使用量は、白本P234より			
	高濃度泥水	V'1= $\pi/4 \times (0.960 \text{ m} + 0.050 \text{ m} \times 2)^2$	= 0.882 m ³ /m		
		高濃度泥水注入率={0.3+0.3×0%+0.7×0% ² }×100= 30% → 50% … 白本P.234			
		V'2= 0.882 m ³ /m × 50 %	= 0.441 m ³ /m		
		V= 0.441 m ³ /m × 6.2 m/日	= 2.734 m ³ /日		
	粘土	W= 240.0 kg/m ³			
	増粘材	W= 1.8 kg/m ³			
	目詰材	W= 10.0 kg/m ³			
	水	W= 891.6 kg/m ³ … 白本P.234			
坑外作業工		L=		m	79.72

仮設備工（泥濃式推進）数量算定表 (1/2)

中大口径管推進工法 泥濃式 φ800					
種 別	細 目	算 定 式		単位	数 量
支圧壁	鋼製			箇所	1
クレーン設備組立撤去				箇所	1
坑口工	発進坑口工			箇所	1
	到達坑口工			箇所	1
鏡切り工				箇所	2
	発進口切断延長	L'= 7.0 m	ライナープレート t=2.7mm		
	到達口切断延長	L'= 7.0 m	ライナープレート t=2.7mm		
推進用機器据付撤去	φ800			箇所	1
掘進機引上用受台				箇所	1
	受台質量	W'= 1.04 t	… 積算要領P.280		

計 算 書

計 算 書

マンホール工

組立3号マンホール工

集計表

費 目(レベル1) 管路
工 種(レベル2) マンホール工

種 別 (レベル3)	細 別 (レベル4)	摘 要	単 位	数 量
組立マンホール工				
	組立3号マンホール	平均マンホール深	m	2.781
		鉄蓋及び受枠		
		転落防止装置付 φ 600 T-25	組	1
		調整金具		
		t ≤ 45mm	個	1
		調整リング		
		φ 600 h=150	個	1
		斜壁		
		φ 600-900 h=300	個	1
		直壁		
		φ 900 h=300	個	1
		中間斜壁		
		φ 900-1500 h=300	個	1
		躯体ブロック		
		φ 1500 h=1800	個	1
		底版		
		h=150	個	1
		可とう継手		
		VU φ 800用	個	1
		VU φ 350用	個	
		削孔		
		VU φ 450用	箇所	
		VU φ 350用	箇所	
		組立マンホール設置工		
		4m以下	箇所	1
		無収縮モルタル	m ³	0.01
		底部工		
		調整モルタル	m ³	0.03

計 算 書

M-5 発進立坑工

M-5 両 発 進 立 坑 工 数 量 算 定 表 (1/7)

φ 3000mmライナープレート		立坑深 H= 3.161 m				
種 別	細 目	算 定 式			単 位	数 量
管路掘削		現況舗装厚=	0.08 m	復旧舗装+路盤厚=	0.31 m	
立坑掘削工	バックホウ掘削	V=	4.30 m × 4.30 m × (0.85 m - 0.08 m)	=	14.237 m ³	m ³ 14.2
	掘削土留工部	V=	π/4 × 3.18 m ² × (3.511 m - 0.85 m)	=	21.134 m ³	
		V=	m × m × (m - m)	=	m ³	
				ΣV=	21.134 m ³	
発生土処理	発生土処分工	V=	14.237 m ³ + 21.134 m ³	=	35.371 m ³	m ³ 35.4
ガイドコンクリート						
コンクリート	σ ck=18N/mm ²	V=	π/4 × 3.60 m ² × 0.30 m	=	3.054 m ³	
		-V=	π/4 × 3.00 m ² × 0.30 m	=	-2.121 m ³	
				ΣV=	0.933 m ³	m ³ 0.9
型枠		A=	π × 3.60 m × 0.30 m	=	3.393 m ²	
		A=	π × m × m	=	m ²	
				ΣA=	3.393 m ²	m ² 3.4
構造物取壊し	無筋構造物	V=	コンクリート量に同じ	=	0.933 m ³	m ³ 0.9
ガラ処分	Coガラ	V=	構造物取壊し量に同じ	=	0.933 m ³	m ³ 0.9

M-5 両 発 進 立 坑 工 数 量 算 定 表 (5/7)

φ 3000mmライナープレート		立坑深 H= 3.161 m				
種 別	細 目	算 定 式			単 位	数 量
立坑基礎工						
基礎砕石	RC-40 t=200mm	A=	$\pi/4 \times 3.00 \text{ m}^2$	=	7.069 m ²	m ² 7.1
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	V=	$\pi/4 \times 3.00 \text{ m}^2 \times 0.15 \text{ m}$	=	1.060 m ³	
		V=	m × m × m	=	m ³	
				ΣV=	1.060 m ³	m ³ 1.1
覆工						
覆工板・覆工板受桁設置撤去工	推進立坑50m2以下	A=	4.00 m × 4.00 m	=	16.000 m ²	m ² 16.0
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	V=	4.30 m × 0.25 m × 0.10 m × 2	=	0.215 m ³	m ³ 0.2
型枠工		A=	4.30 m × 0.10 m × 2	=	0.860 m ²	m ² 0.9
構造物取壊し	無筋構造物	V=	コンクリート量に同じ	=	0.215 m ³	m ³ 0.2
ガラ処分	Coガラ	V=	構造物取壊し量に同じ	=	0.215 m ³	m ³ 0.2

M-5 両 発 進 立 坑 工 数 量 算 定 表 (6/7)

φ 3000mmライナープレート		立坑深 H= 3.161 m				
種 別	細 目	算 定 式			単 位	数 量
鋼材搬入重量	ライナープレート	W'= 0.335 t/m				
		W= 3.00 m × 0.335 t/m	= 1.005 t	t	1.005	
	覆工板	W'= 0.200 t/m ²				
		W= 4.00 m × 4.00 m × 0.200 t/m ²	= 3.200 t	t	3.200	
	受桁	H-300×300×10×15 W'= 0.100 t/m				
		W= 4.30 m × 3 列 × 0.100 t/m	= 1.290 t	t	1.290	
	桁受け	H-250×250×9×14 W'= 0.080 t/m				
		W= 4.30 m × 2 列 × 0.080 t/m	= 0.688 t	t	0.688	
	ズレ止め	[-200×80×7.5×11 W'= 0.0246 t/m				
		W= 4.00 m × 2 列 × 0.0246 t/m	= 0.197 t			
		W= 4.16 m × 2 列 × 0.0246 t/m	= 0.205 t			
		ΣW= 0.402 t			t	0.402
鋼材搬出重量	覆工板	W= 搬入重量に同じ			= 3.200 t	t 3.200
	受桁	W= 搬入重量に同じ			= 1.290 t	t 1.290
	桁受け	W= 搬入重量に同じ			= 0.688 t	t 0.688
	ズレ止め	W= 搬入重量に同じ			= 0.402 t	t 0.402

計 算 書

補助工法

二重管ストレーナ(単相)工法

* 2 セットを標準とする

$$A=2.00 \times 2.00$$

M-2 到達立坑 坑口

【施工面積 A = 4.00 m²】

【1本当り注入量 Q_s= 774 (L/本)】

【施工本数 n = 4 (本)】

施工箇所 土層種別	削孔長 L ₀ (m)	注入長		角度補正 α	対象土量 V' (m ³)	注入率		総注入量 V*λ V(kL)	1本当り						1日当り				
		N値	L ₁ (m)			溶液型 λ	溶液型 V'*λ		機械準備 時間 T ₁ (分)	削孔時間		注入量 Q _s (L/本)	注入時間 Q _s /q _s T ₃ (分)	土被り 引抜時間 γ ₂ *L ₂ T ₄ (分)	施工時間 T ₁ +T ₂ +T ₃ +T ₄ T _s (分)	施工本数 60*H*2/T _s N(本/日)	施工日数 n/N D(日)		
										α*γ ₁ *L ₀	V*1000/n							γ ₁ (分/m)	T ₂ (分)
										qs=18(L/分)	qs/q _s							γ ₂ (分/m)	T _s (分)
	3.954		2.000	1.0	8.000		3.093		14		18.0	774	43.0	3.9	79	9.6	0.4		
粘性土	1.784	0~4	1.784	30°未満 1.0	7.136	38.5	2.747	機械移動、 機械据付、 器具洗浄、 の時間 * 打設間 隔は1m を標準と する		4.0	7.1	687	38.2	γ ₂ =2.0(分/m)	H=6.3時間 とする				
		4~8	0.000		0.000	30.0	0.000					0	0.0						
		8~15	0.000		0.000	15.0	0.000					0	0.0						
砂質土	2.170	0~10	0.216	100°未満	0.864	40.0	0.346		5.0	10.9	87	4.8							
		10~30	0.000	1.35	0.000	32.0	0.000				0	0.0							
礫質土	0.000	30以上	0.000	100°以上	0.000	21.0	0.000		8.0	0.0	0	0.0							
		10~30	0.000	1.5	0.000	40.0	0.000				0	0.0							
		30~50	0.000		0.000	28.0	0.000				0	0.0							
		50以上	0.000		0.000	20.0	0.000				0	0.0							

二重管ストレーナ(単相)工法

* 2 セットを標準とする

$$A = \pi / 4 \times (6.00^2 - 3.00^2)$$

M-5 発進立坑 側壁部

【施工面積 A = 21.21 m²】

【1本当り注入量 Q_s = 1,356 (L/本)】

【施工本数 n = 22 (本)】

施工箇所 土層種別	削孔長 L ₀ (m)	注入長		角度補正 α	対象土量 V' (m ³)	注入率		総注入量 V*λ (kL)	1本当り						1日当り				
		N値	L ₁ (m)			溶液型 λ	溶液型 V'*λ		機械準備 時間 T ₁ (分)	削孔時間		注入量 Q _s (L/本)	注入時間 Q _s /q _s T ₃ (分)	土被り 引抜時間 γ ₂ *L ₂ T ₄ (分)	施工時間 T ₁ +T ₂ +T ₃ +T ₄ T _s (分)	施工本数 60*H*2/T _s N(本/日)	施工日数 n/N D(日)		
										α*γ ₁ *L ₀	V*1000/n							γ ₁ (分/m)	T ₂ (分)
										qs=18(L/分)	qs/q _s							γ ₂ (分/m)	T ₂ (分)
	5.011		3.600	1.0	76.356			29.836	14		22.9	1,356	75.4	2.8	115	6.6	3.3		
粘性土	2.221	0~4	2.221	30°未満 1.0	47.107	38.5	18.136	機械移動、 機械据付、 器具洗浄、 の時間 * 打設間 隔は1m を標準と する		4.0	8.9	824	45.8	γ ₂ =2.0(分/m)	H=6.3時間 とする				
		4~8	0.000		0.000	30.0	0.000					0	0.0						
		8~15	0.000		0.000	15.0	0.000					0	0.0						
砂質土	2.790	0~10	1.379	100°未満	29.249	40.0	11.700		5.0	14.0	532	29.6							
		10~30	0.000	1.35	0.000	32.0	0.000				0	0.0							
礫質土	0.000	30以上	0.000	100°以上	0.000	21.0	0.000		8.0	0.0	0	0.0							
		10~30	0.000	1.5	0.000	40.0	0.000				0	0.0							
		30~50	0.000		0.000	28.0	0.000				0	0.0							
		50以上	0.000		0.000	20.0	0.000				0	0.0							

二重管ストレーナ(単相)工法

* 2 セットを標準とする

$$A=2.00 \times 0.50$$

M-5 発進立坑 下流側坑口

【施工面積 A = 1.00 m²】

【1本当り注入量 Q_s = 778 (L/本)】

【施工本数 n = 1 (本)】

施工箇所 土層種別	削孔長 L ₀ (m)	注入長		角度補正 α	対象土量 V' (m ³)	注入率		総注入量 V*λ (kL)	1本当り						1日当り			
		N値	L ₁ (m)			溶液型 λ (%)	溶液型 V'*λ (kL)		機械準備 時間 T ₁ (分)	削孔時間		注入量 V*1000/n Q _s (L/本)	注入時間 q _s =18(L/分) Q _s /q _s T ₃ (分)	土被り 引抜時間 γ ₂ *L ₂ T ₄ (分)	施工時間 T ₁ +T ₂ +T ₃ +T ₄ T _s (分)	施工本数 60*H*2/T _s N(本/日)	施工日数 n/N D(日)	
										α*γ ₁ *L ₀	γ ₁ (分/m)							T ₂ (分)
										m当り 時間	時間							時間
	3.361		2.000	1.35	2.000		0.778		14		20.7	778	43.2	2.7	81	9.3	0.1	
粘性土	1.500	0~4 4~8 8~15	1.500 0.000 0.000	30°未満 1.0	1.500 0.000 0.000	38.5 30.0 15.0	0.578 0.000 0.000	0.000	機械移動、 機械据付、 器具洗浄、 の時間	4.0	8.1	578 0 0	32.1 0.0 0.0	γ ₂ =2.0(分/m)	H=6.3時間 とする			
砂質土	1.861	0~10 10~30 30以上	0.500 0.000 0.000	100°未満 1.35 100°以上	0.500 0.000 0.000	40.0 32.0 21.0	0.200 0.000 0.000	* 打設間	5.0	12.6	200 0 0	11.1 0.0 0.0						
礫質土	0.000	10~30	0.000	1.5	0.000	40.0	0.000	隔は1m	8.0	0.0	0	0.0						
		30~50 50以上	0.000 0.000	0.000 0.000	0.000 0.000	0.000 0.000	28.0 20.0	0.000 0.000					を標準と する					0 0

計 算 書

付帯工

舗装工（市道車道）数量算定表 (1/3)

市道車道		IRB 8-3-10			
種 別	細 目	算 定 式		単 位	数 量
インターロッキングブロック工					
ブロック撤去(再使用)	M-5	A=	4.30 m × 4.30 m	=	18.490 m ²
t=8cm		A=	m × m	=	m ²
		A=	m × m	=	m ²
		A=	m × m	=	m ²
				Σ A=	18.490 m ²
				m ²	18.5
舗装仮復旧工					
路盤	M-5	A=	4.30 m × 4.30 m	=	18.490 m ²
粒調碎石 t=18cm		A=	m × m	=	m ²
		A=	m × m	=	m ²
		A=	m × m	=	m ²
				Σ A=	18.490 m ²
				m ²	18.5
表層	M-5	A=	路盤と同じ	=	18.490 m ²
As t=3cm		A=		=	m ²
		A=		=	m ²
		A=		=	m ²
				Σ A=	18.490 m ²
				m ²	18.5

舗装工（市道車道）数量算定表 (2/3)

市道車道		IRB 8-3-10			
種 別	細 目	算 定 式		単 位	数 量
舗装撤去工					
舗装版取壊し	M-5	A=	表層と同じ	= 18.490 m ²	
As t=3cm		A=		= m ²	
		A=		= m ²	
		A=		= m ²	
				ΣA= 18.490 m ²	m ² 18.5
殻運搬処理	Asガラ	V=	18.490 m ² × 0.03 m	= 0.555 m ³	m ³ 0.6
管路土工					
管路掘削	M-5	V=	4.30 m × 4.30 m × 0.08 m	= 1.479 m ³	
		V=	m × m × m	= m ³	
		V=	m × m × m	= m ³	
		V=	m × m × m	= m ³	
				ΣV= 1.479 m ³	m ³ 1.5
発生土処理		V=	管路掘削と同じ	= 1.479 m ³	m ³ 1.5

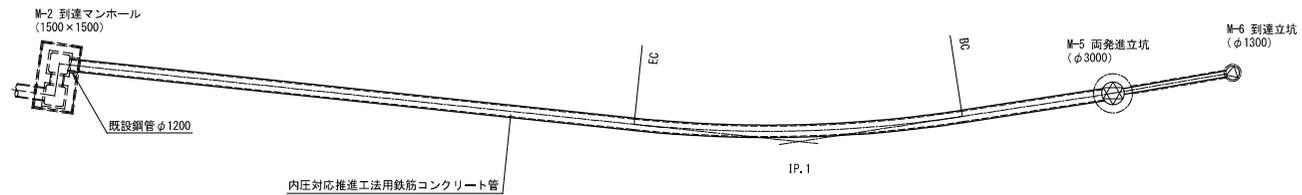
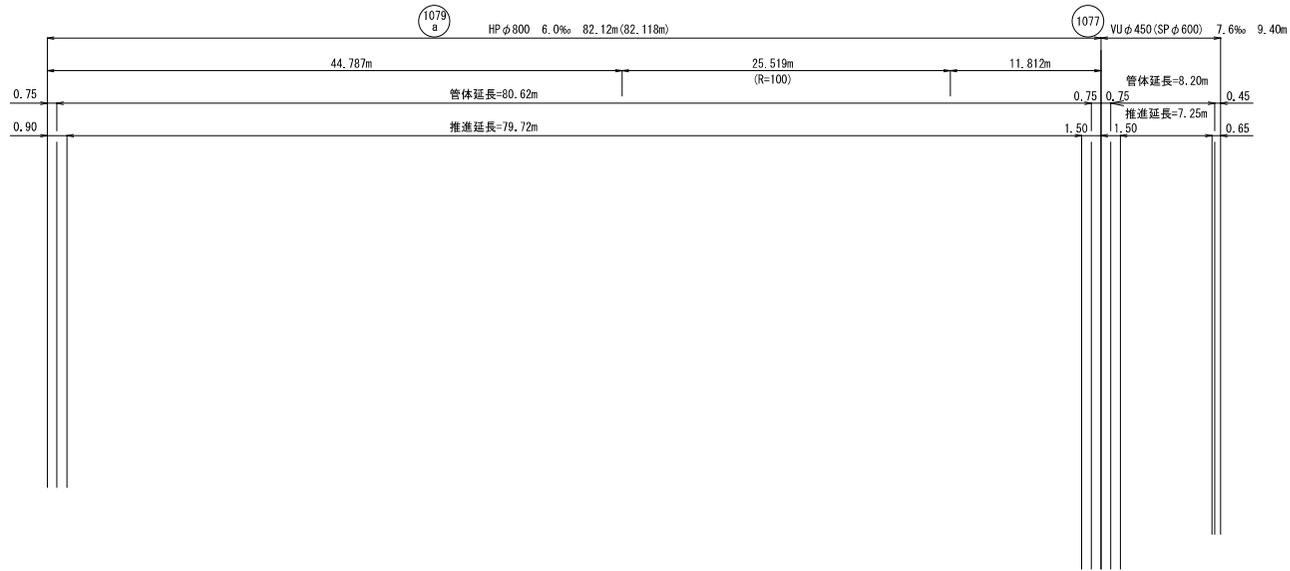
— 参 考 図 —

令和 4 年度

城町第2排水区雨水管新設工事(4-1工区)

推進工概要図

(S=1/200)



IP. 1	
IA	= 14° 37' 16"
R	= 100,000
TL	= 12.829
CL	= 25.519
SL	= 0.820

令和4年度 公共下水道事業（雨水）

工事名 城町第2排水区雨水管新設工事（4-1工区）

工事場所 三原市 城町一丁目

図面番号 縮尺 1/200

推進工概要図

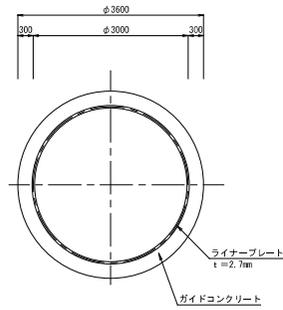
三原市

M-5 両発進立坑 仮設図

(S=1/50)

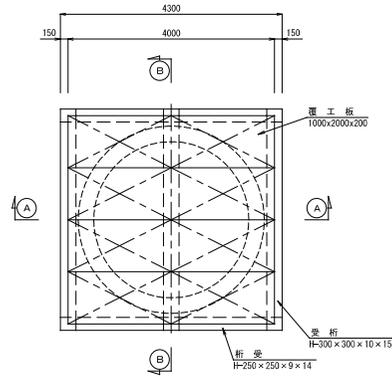
ライナープレートφ3000

平面図



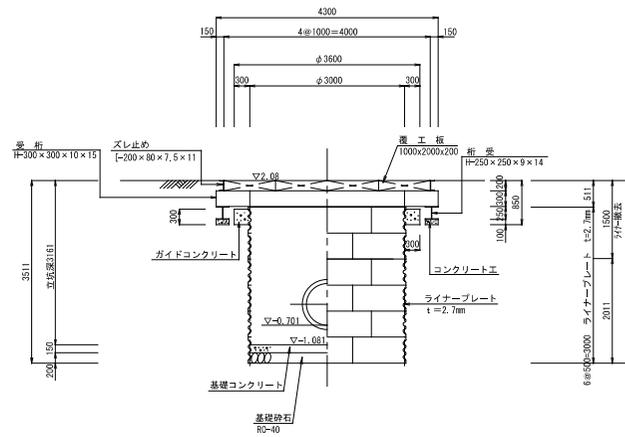
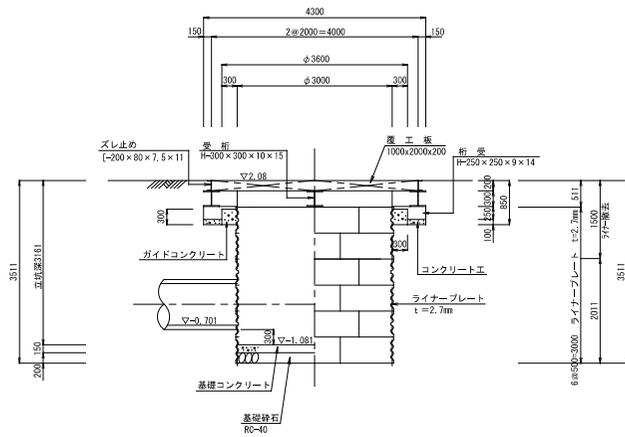
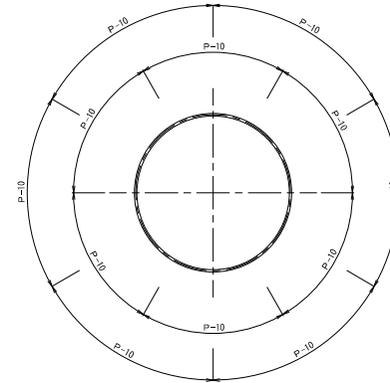
Ⓐ—Ⓐ

覆工平面図



Ⓑ—Ⓑ

セクション構成図

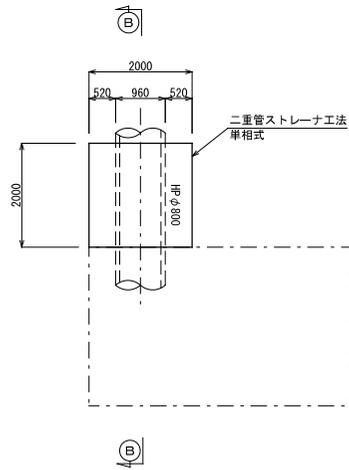


令和4年度 公共下水道事業（雨水）		
工事名	城町第2排水区雨水管新設工事（4-1工区）	
工事場所	三原市 城町一丁目	
図面番号	縮尺	1/50
M-5 両発進立坑 仮設図		
三原市		

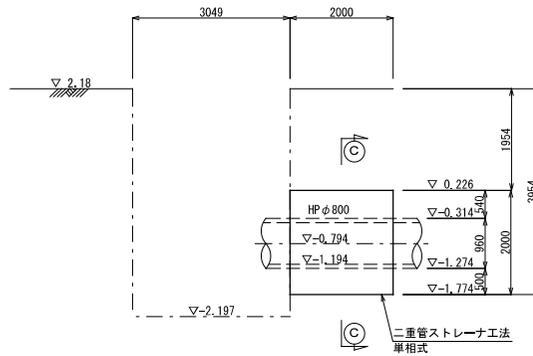
M-2 両到達立坑補助工法図

(S=1/50)

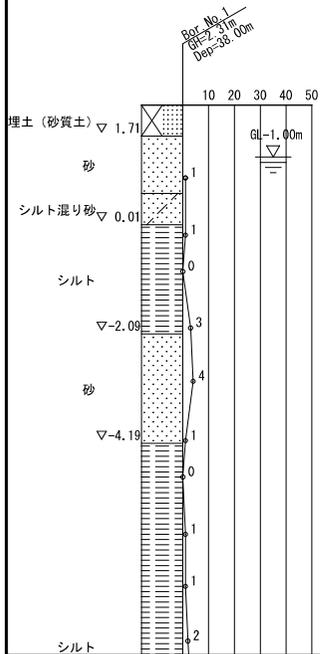
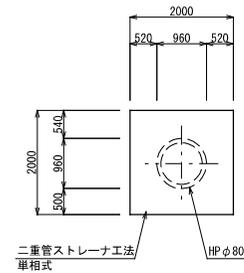
平面図



③—③



③—③

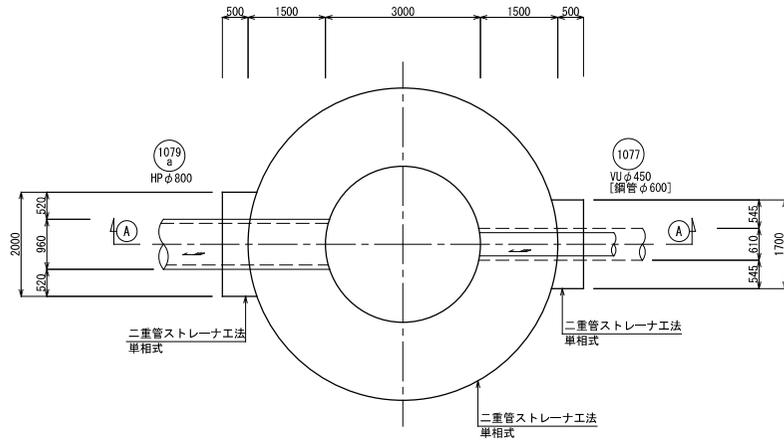


令和4年度 公共下水道事業 (雨水)	
工事名	城町第2排水区雨水管新設工事 (4-1工区)
工事場所	三原市 城町一丁目
図面番号	縮尺 1/50
M-2 両到達立坑補助工法図	
三原市	

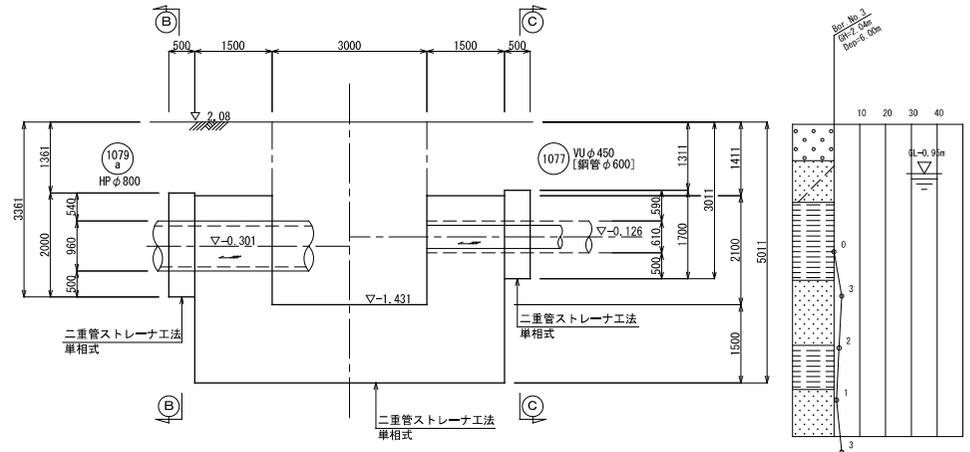
M-5 両発進立坑補助工法図

(S=1/50)

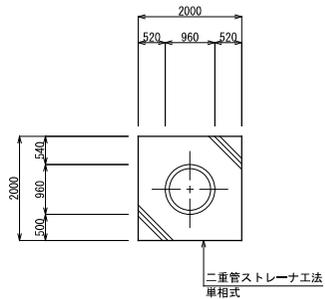
平面図



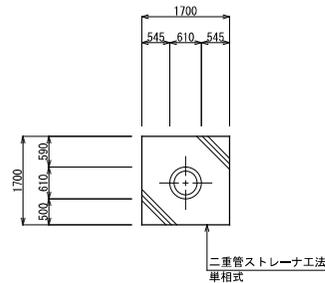
A—A



B—B



C—C



令和4年度 公共下水道事業（雨水）	
工事名	城町第2排水区雨水管新設工事（4-1工区）
工事場所	三原市 城町一丁目
図面番号	縮尺 1/50
M-5 両発進立坑補助工法図	
三原市	

位置図 S=1/2500



施工範囲

令和4年度 公共下水道事業（雨水）		
工事名	城町第2排水区雨水管新設工事（4-1工区）	
工事場所	三原市 城町一丁目	
図面番号	縮尺	1/2500
位置図		
三原市		